

都 退 教 協 だ よ り

No.309号

2022年10月19日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

11月2日秋の交流会「旧東海道を歩く」 ゆっくりと品川宿から鈴ヶ森刑場跡まで

今年の秋の交流会は、旧東海道品川宿から鈴ヶ森刑場までを散策します。距離は約一里ほどです。ゆっくり歩いて街道沿いの吉田屋（蕎麦・幕末に坂本龍馬や山岡鉄舟も訪れた店）で昼食にしたいと思います。

東海道 53 次第一の品川宿は大変栄えた宿場町でした。その昔、良港、寺町、獵師町としても栄え、今でもその面影を残す旧東



海道が同じ道幅で品川宿から鈴ヶ森刑場跡まで残っています。

江戸四宿と呼ばれた、中山道の板橋宿、甲州街道の内藤新宿、日光街道・奥州街道の千住宿は、いずれも、色町、遊廓、飯盛旅籠としても大変な賑わいだったそうです。

日 時 11月2日(水)午前11時

場 所 北品川駅改札集合（京浜急行）

コース

北品川（歩行新宿）—土蔵相模跡—台場横丁—（北品川宿）聖蹟公園（品川宿本陣跡）—荏原神社—品川橋（目黒川）—品川寺（ほんせんじ）—鮫洲—吉田屋（昼食）—浜川橋（なみだ橋）—鈴ヶ森刑場跡—（立会川駅または大森駅から帰途について下さい。）

熱戦の東京都退職教職員囲碁大会

9月22日、ナーベル御茶ノ水で恒例の囲碁大会が開催されました。

都高教、東京教組の退職者が集い、今年は関東大会、全国大会がないのでクラス別けせずに5段から4級までの参加者全員のリーグ戦を行いました。和気藹々の雰囲気のもと熱戦が繰り広げられました。優勝は、福嶋常光さん（都高退）準優勝は同率で原田文夫さん、佐藤正八さんでした。



古賀ちかげ参議院議員のメッセージ

7月の参議院選挙で見事当選を果たした古賀ちかげさんに参議院議員としての抱負や都退教協の会員の皆さんへのメッセージを書いていただきました。

東京都退職教職員協議会の皆さん、こんにちは。古賀ちかげです。

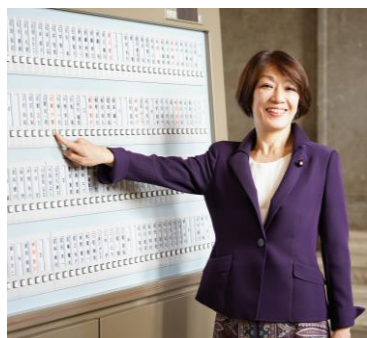
7月に行われた参議院選挙では多くのご支援を頂き、「現場の声を国会に届ける」というスタートラインに立つことができました。皆さんの思いに応えることができるよう精一杯頑張ります。

30年の教員生活で、悩んでいる子どもたちをたくさん見てきました。また、教職員の業務が多忙化していて、教職員は疲弊しています。このような状況では、子どもたちの心が見えなくなり充実した教育活動はできません。子どもたちを中心に据えた学校、教育をめざします。

年金が4月からまた下がり、高齢者の生活が苦しくなっています。国は防衛費をGDPの2%、5兆円まで上げようとしています。全ての年金受給者の年金を月に1万円上げたら約5兆円。また、市民全ての医療費を無償化しても5兆円強。私たちの税金5兆円は、市民の安定した暮らしのために使われなければなりません。

今、平和と憲法の危機です。この世界情勢の中、「軍事増強」をおおるような報道がなされています。私たちは真実を見抜かなければなりません。

「核共有」「軍事増強」「憲法改悪」このようなことが言われています。世界で唯一の戦争被爆国である日本。核兵器禁止条約に署名も、批准もせず、「核共有」の声があがるな



どもってのほかです。「軍事増強」では、人は幸せにはなれません。命は守られません。先の参議院選挙では、改憲勢力が3分の2を超えました。日本が世界に



誇る平和憲法。「憲法改悪」を阻止し必ず平和憲法を守っていきます。

8月3日に臨時国会が開会しましたが、「安倍元首相の国葬」「旧統一教会」等の課題には全く触れられることなく、5日に閉会しました。

9月27日に行われることが決定している「国葬」。市民の声は「賛成」より「反対」が上回っています。費用は税金の2.5億円。物価高で市民の生活が困窮している中、この2.5億円の使われ方には疑問が残ります。戦時中、亡くなられた方の遺体は山積みになされ、焼かれました。同じ人間の命。この差は何でしょう。私は国葬に反対を続けます。

「旧統一教会」の件でも、選挙活動の組織的支援や政策への介入など、教団と政界の関係が取りざたされています。しかし、説明責任が果たされているとは感じません。市民が忘れるのを待つかのような国会の閉じ方だと感じています。

まだまだ、わからないことがたくさんあります。自分が「変わってはいけないこと」と「変わらねばならないこと」があると感じています。一つずつ、自分がやるべきことを見つけ、日政連議員の皆さんと連携し、「子ども」「暮らし」「平和」を守るために力を尽くします。今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。

参議院議員 古賀 千景

原ゆき立川市議会議員のメッセージ

6月の立川市議会議員選挙で東京教組組織内候補として当選を果たした原ゆきさんに、立川区議としての抱負や都退教協の会員の皆さんへのメッセージを書いていただきました。

都退教協のみなさん、こんにちは。原ゆきと申します。2015年度から2018年度まで杉教組で執行委員をしておりました。学校現場には、子どもの貧困・格差、いじめや虐待、障がいやマイノリティへの配慮を欠くなどの問題がありました。社会を広く見渡したとき、「自分らしく生きる」「生きたいように生きる」あたりまえの権利が蔑ろにされている悲しい現実を目にします。一人ひとりの努力では解決が難しい課題に向き合い、困っている声を議会に届け、制度面の改善を行うことで問題解決につなげたいと思うようになり、政治の道を志しました。

今年6月に執行された立川市議会議員選挙で東京教組組織内候補として立憲民主党から立候補し、初当選させていただきました。

9月には第3回定例会があり、本会議場で初めて一般質問を行いました。質問の一つとして、都立高校入試英語スピーキングの導入についてテーマにあげました。この中で、「スピーキングテスト当日の試験会場については、10月上旬に都から通知があり、生徒に対して事前指導等行う」旨の答弁は、新たな情報でありま

した。この答弁を引き出した質問は、組合員の中学校教員の方から事前にヒアリングさせていただいたことから生

まれたものです。教員出身、組合出身の議員として、議会での活動を通して、現場への迅速な情報の共有や先生方の働く環境改善を実現できるように尽力していきます。そして、そのことを通して、子どもたちの豊かな学びや育ちに繋げていきたいです。地域に暮らす人、現場で働く人の声を第一に考え、これからも活動してまいります。引き続き、ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。



日退教関東ブロックの2022年度定期総会紙上採決の結果

日退教の関東地区連絡協議会（東京・東京高・神奈川・神奈川高・千葉・埼玉・茨城・山梨・静岡・群馬）は、毎年定期総会を開催していましたが、今年度はコロナ禍で紙上採決による総会になりました。7月31日、各単会からの賛否の結果と意見の確認しました。その結果

関東地区組織活動交流集会の今年度の開催は見送ることになりました。あわせて、2022年度の分担金も今年度は組織活動交流集会に関する支出が不要となること、また、昨年度からの繰越金が51万円余りあることから、各単会からの分担金は徴収しないことになりました。

会費・カンパを振り込んでいただき、ありがとうございます。

会費を納入してくださった方々（敬称略）

木下恵一、持川徹、林健、

カンパしてくださった方々（敬称略）

林健、

・10月12日現在

亡くなられた方

森田義男さん

ご冥福をお祈りいたします

ひとこと

中村光夫 川柳

弱いもの守らずいじめる最高裁

中曽根と石原逝っても九条残る

オリンピックでスポーツみんないやになり



編集後記

- ◇ 7月10日に行われた参議院選挙にむけて、都退教協会員に役員から電話で話すとりくみを行いました。80代、90代の会員が「もう歩くのがしんどい」「車いす生活」だけど「連れて行ってくれる人がいるから大丈夫。」「もう自分はいけないけど妻と息子が大丈夫、古賀さんねと言ってる」と心強い。「古賀さんは大丈夫だと思って福島さんにしようと思っていた、厳しいなら古賀さんに入れるよ!」「古賀さんは全国区ね、東京は誰にする?」と言う声もあった。自公政権に対する憤りや「立憲野党に当選してほしいけど投票したい人がたくさんいて悩む」という会員。病や老いの話、医療費増、物価高、年金削減など高齢者の切実な声も伺えました。都退教協は、古賀ちかげ、水岡俊一、斎藤よしとか参議院議員とともにこれらの声に応えていきたい。
- ◇ 8月ジュネーブで国連障害者権利委員会が開催されました。都退教協常任委員の名谷和子さんも障害児を普通学級へ・全国連絡会のメンバーとして参加しました。権利委員会は、子どもの権利条約、障害者権利条約に基づく勧告を無視し続ける日本政府にインクルーシブ教育の普及、改善を要請するに厳しい勧告を出しました。
- ◇ 古賀ちかげ参議院議員、原ゆき立川市議会議員に都退教協の会員にメッセージを書いていた。お二人とも教員出身の議員として、「子ども」「くらし」「平和」を守るために活躍されることを期待しています。
- ◇ 今年度の会費が未納の方に、会費納入のお願いと振込用紙を同封させていただきました。もし、行き違いがございましたらご連絡くだされば幸いです。
- ◇ 戦争の足音が高まり続けている。ウクライナのみならず南西諸島、朝鮮半島の緊張も極限に近い。戦争の犠牲者は兵士を含む民衆に他なりません。始めてしまった戦争を終わらせるのは極めて困難です。為政者に戦争を始めさせないことこそ、私たちの責務であり、私たちの自由と権利を保持する不断の努力だと思います。(谷口記)